

2年生ブックトーク図書紹介

10月5日に「食よくの秋」というテーマでブックトークをしました。秋の歳時記(俳句の季語を集めた本)やテーブルマナー、食べ物のおもしろいお話などを紹介しました。



『いきもの歳時記 秋』

古舘綾子・文/館あきら 他 写真/小林絵里子・絵 童心社

俳句を作る時に欠かせないのが歳時記ですが、日本の四季の移り変わりを身近に感じるきっかけにもなります。子ども向けの歳時記であるこの本は、秋の季語となる植物・いきものをたくさんの写真とイラストでわかりやすく、解説しています。1冊の読み物としても楽しめます。

『きのこ のこのこ ふしぎのこ』

サンチャイルドビッグサイエンス 2020年10月号

きのこってどんな種類があるの?どんな風に育てるの?秋の味覚の代表格きのこについての科学絵本を読み聞かせしました。



『ごはんのはなし』

農文協 編/農文協

毎日食べている「ごはん」って
どんなもの?

白米やお米についての絵本。



『いろいろなたべもののはじまり2 ハンバーグのはじまり』

農文協 編 / 農文協

この食べものはいつだれが作ったの?いつ日本に伝わったの?
人気の食材の「はじまり」をわかりやすく説明した本。

『テーブルマナーの絵本』

高野紀子 作/あすなろ書房

食べることを楽しむためには、マナーも大事です。

お箸の使い方などの基本からレストランでの食事まで、知っておくとスマートな知識がいっぱい!



『パンダのポンポン』

野中 柊 作 / 理論社

パンダのポンポンはレストラン・きら星亭コックさん。もしかしたら作るより食べるほうが好きなくいしんぼうのポンポンを主人公に、個性的な動物たちがたくさん出てくる連作童話です。出てくるお料理はどれもとてもおいしそう!



『おしゃべりなたまごやき』

寺村輝夫 作/ 理論社

たまごが大好きな王さまが、にわとり小屋のカギをいたずらしてしまって大変なことに…

くいしんぼうでいばりんぼう。だけど、どこかにくめない王さまのお話がたくさん載っています。

世代を越えて愛される「ぼくは王さま」シリーズです。



2年生ブックトーク図書紹介

10月19日に「芸術の秋」というテーマでブックトークをしました。「スポーツ」「食よく」に続く「〇〇の秋」シリーズで、子ども向けの名画の本や音楽の本など、芸術に関係する本を紹介しました。



『直感こども美術館 見てごらん! 名画だよ』

マリー・セリエ 文 結城昌子 監訳 西村書店

名画の中には秘密や謎がいっぱいです。15世紀から現代アートまで、有名な画家の絵をひとつずつ紹介する美術絵本。「鑑賞」なんて難しいことは考えなくて大丈夫。好きだと思う絵を見つけましょう。

『びじゅつのゆうえんち うごく浮世絵!?!』

よぐちたかお 作/アーサー・ピーナード 英文

浮世絵は美術品として世界中で高い評価を受けていますが、その浮世絵を、遊びながら楽しんでしまおうという本です。付属しているマジックフィルムを絵にのせると、北斎や写楽の絵が生き生きと動き出します。驚いたり、にやっとしたりして気軽に楽しんでください。



デザインあ



『デザイン あ みるほん』

NHK「デザインあ」制作チーム編
/金の星社

NHK Eテレ人気コーナー「デザインあ」のヴィジュアルブック。600点以上の画像を使って、新たに構成・デザイン。え!?!という驚きがたくさんつまっています。

『そうだったのか!』

しゅんかん図鑑

伊知地国夫 写真 / 小学館
みぢかなものが動くとき、目ではとらえられない「しゅんかんのすがた」がここに! 特別なカメラで撮影したさまざまなしゅんかんは、ある意味芸術的です。解説も読んで、科学への興味もふくらませましょう。

『じつはよるのほんだなは』

澤野秋文 作/講談社

実は夜の本だなは……昼間は本の中でおぎょうぎよくしていたさし絵たちが、自分の本から飛び出して、別の本に入りこんで大さわぎ。普段は本の見張り番、犬張子の「こたろう」が見守っているのですが、今夜はうっかりいねむりしてしまい、気がついた時には、まいごがいっぱい!

ちがう昔話の本に行ってしまった桃太郎、日本の江戸時代の絵に入り込んだシンデレラ…。

あなたもこたろうと一緒に迷子をさがしてください! 「ウォーリーをさがせ!」感覚で楽しめる絵本。



2年生ブックトーク図書紹介

10月26日に「芸術の秋パート2 音楽のまき」というテーマでブックトークをしました。楽器についての本や、子ども向けのバレエ物語など、音楽に関係する本を紹介しました。



『調べてみよう！日本の職人伝統のワザ6 工芸の職人
(和紙、筆、琴、からくり人形)』学研プラス

箏(琴)という楽器を知っていますか？ 箏は日本の伝統楽器でとてもすてきな音色を奏でます。そんな楽器はどのように作られるのでしょうか。歴史の中で磨かれてきた伝統的な技術とその職人の姿を紹介。箏の他の日本の伝統芸といわれる分野の職人さんの姿も見られます。

『ありそうでなかった形から引ける音楽記号辞典ジュニア版』

トーオン編集部 編/ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス出版部

楽譜を見ていると、様々な記号や用語がかかれていますね。中には見たことのない記号があるかもしれません。意味が分からないどころか、読み方すら分からない…そんな時に役に立つのがこの辞典です。

記号の形が目次に並んでいるので、おなじ形の載っているページを探しだけ！「このヘンな記号なに？ なんて読むの？」と、遊び感覚でページをめくってだけで音楽の知識も増えていきます。



『音が出るおもちゃ&楽器あそび』

吉田未希子 著/いかだ社

音であそぼう！身近なものが楽器にへんしんするよ！型紙もついているのでかんたんに楽しく作れます。

作った楽器で音楽バンドを組もう！



『クラシックバレエおひめさま物語
眠れる森の美女』

藤本ひとみ 文(原作ペロー)/講談社

バレエは物語の世界を音楽とダンスであらわし、歌やセリフがないのが特徴です。セリフがないので、うんと楽しむためには、見に行く前にどんなお話か知っておくとよいかもしれません。

バレエ作品には妖精やお姫様が登場するおとぎばなしをもとにしたものがたくさんあります。

この「クラシックバレエおひめさま物語」シリーズでは、物語の内容はもちろんのこと、バレエとしての見どころなども紹介されています。



『はじめてのオーケストラ』

佐渡裕 原作・はたこうしろう絵 /小学館

みーちゃんのお父さんは「指揮者」です。すてきなお仕事だということなのですが、指揮者ってなに？ オーケストラってなんだろう。

みーちゃんと一緒にお父さんの仕事を追っていくうちに、オーケストラのことやクラシックコンサートのことがわかります。

世界的指揮者佐渡裕氏が初めて手がけた絵本。日本では敷居が高いと思われるクラシックコンサートですが、たくさんの人に楽しんでほしいという思いがこめられています。

